

事務事業名 掛合総合センター・交流センター整備事業		所属部 総務部	所属課 管財課	
総合計画体系	政策名 (I) みんなで築くまち<<協働・行政経営>>	所属G 財産管理監視G	課長名 須田 弘	
	施策名 (05)時代にあった行政サービスの実現	担当者名 井上芳樹	電話番号 0854-40-1025 (内線) 2372	
	目的:対象 行政機能 意図 公平で効率的なサービスを提供する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 7 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 0 1	庁舎施設整備事業	
	基本事業名 (015)市民に親しまれる窓口サービスの提供 目的:対象 行政機能 意図 市民に親しまれる窓口をつくる。		庁舎施設整備事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
掛合総合センター及び掛合交流センター等の老朽化した公共施設について、複合施設として整備する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)				
	<業務委託> ・建築実施設計業務 <工事請負> ・除雪車外公用車庫解体工事 ・敷地造成工事 <用地補償> ・用地買収 ・物件補償 <地元協議> ・建設推進委員会開催	<工事請負> ・建設工事 ・外構工事 ・電算移転工事 ・電話工事 <業務委託> ・工事監理 <備品購入> ・箱棚台類等				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 推進委員会開催回数	回		3	5	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	掛合総合センター・交流センター施設	ア 建築面積	m ²		1,140	1,264	1,264
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
市民が利用しやすい施設を整備する。	ア 事業進捗率	%		1.4	12.5	99.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
<H28現年分>	役 務 費	292千円	財源内訳	国庫支出金	千円			75,201
	委 託 料	9,180千円		県支出金	千円			
	工 事 請 負 費	35,852千円		地方債	千円		56,900	435,200
	財 産 購 入	7,059千円		その他	千円			
	補 償 費	7,555千円		一般財源	千円	7,626	3,038	38,010
	小 計	59,938千円	事業費計 (A)	千円	7,626	59,938	548,411	
			人件費	正規職員従事人数	人	2	2	
				延べ業務時間	時間	246	686	
				人件費計 (B)	千円	963	2,721	
				トータルコスト(A)+(B)	千円	8,589	62,659	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
総合センター整備方針に基づき、複合施設として整備する。整備に際しては住民意見を取り入れ、住民合意のうえ進めている。	平成26年度に総合センター整備方針を策定した。	施設整備に向けては、地元住民より複合施設としての整備を要望されている。

事務事業名	掛合総合センター・交流センター整備事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業計画に基づく進捗であり、向上の余地はない。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	当該施設は市の支所として存続することが決定しており、防災拠点や避難所として指定されていることから、老朽箇所の修繕による継続利用が必要である。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			総合センターについては整備方針に基づき既存公共施設への移転を検討したが、移転先となる適当な施設がなかったことから、新設する交流センターとの複合施設として整備することとなった。																	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要な機能の施設整備のため、事業費についての削減の余地はない。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最低限の費用であり、削減の余地はない。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		公共施設整備であることから、公平公正である。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
平成30年度事業完了に向け、事業を推進する。			廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		

3 今後の方向性【PLAN】